11月14日は
“World Diabetes Day”（世界糖尿病デー）



血糖を下げるホルモン「インスリン」の発見者、カナダのバンティング博士の誕生日にちなみ、１１月１４日を「World Diabetes Day（世界糖尿病デー）」と定め、世界各地で糖尿病の予防・治療・療養に関する啓発活動を推進しています。

糖尿病人口は世界的に増えています。特に日本を含むアジア・太平洋地域の増加は深刻で、世界の１／３の糖尿病患者がこの地域に集中しています。日本でも糖尿病と強く疑われる人と可能性を否定できない人が、合わせて約２，０００万人いると推定されています。

この機会にぜひ、一人でも多くの人が糖尿病についての関心を深めていただきたいと思います。

【ブルーサークル】

World Diabetes Day のシンボルマークは「ブルーサークル（青い丸）」です。国連やどこまでも続く空を表す「ブルー」と、団結を表す「輪」をデザインし、“Unite for Diabetes”（糖尿病との戦いのため団結せよ）というキャッチフレーズとともに、世界中で糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

【糖尿病とは？】

膵臓から分泌されるインスリンの量が不足したり、働きが悪くなることで、慢性的に血液中にブドウ糖が多くなっている状態が糖尿病です。

【糖尿病の原因】



糖尿病の原因は生活習慣だけではありません。

免疫の異常やウイルス感染などにより、インスリンを作る細胞が壊されることで発症する糖尿病もあります。

【糖尿病の早期発見・治療】



・糖尿病は自覚症状がありません。元気でも定期的に健診を受けて血糖値などの確認をしましょう。
・健診等で血糖値が高いと言われた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
・糖尿病と診断された人は、元気でも必ず定期的に医療機関を受診しましょう。